

【思春期の生きづらさを知ろう】

【女性の生きづらさを語ろう】

将来



「生きるうえで、悩みや苦痛を抱えたときに一人で抱え込み、誰にも助けを求めないこと。これこそが最大の自傷的な行動である」と松本俊彦先生はお話されています。

いきづらさの根源はどこにあるのでしょうか？「希望とは絶望を分かちあうこと」と語りかけてくださる松本先生とみなさんと一緒に考えたいと思います。多くの方の参加をお待ちしています。



日時：平成29年5月17日（水）

10時30分～15時00分（受付開始10時）

会場：東海村文化センター（東海村船場768-15）

参加費：無料 定員：500名



10:30 開会

10:35 【思春期からのサバイバルガイド】

講演 国立精神・神経医療研究センター医師 松本俊彦先生



12:00 休憩

13:00 【女性依存症者回復メッセージ】

DARC女性シェルター 栃木メンバー

これまで壮絶な環境を経験しながらも、今を懸命に明るく生き抜いている女性からのメッセージ



13:30 【依存症者家族(女性)メッセージ】

ナラノンファミリーグループ・メンバー

ナラノンは身近な人の薬物問題で、自分の生き方に影響を受けている人たちの自助グループ。経験・力・そして希望を分かち合うことにより助け合う仲間たち。

依存症者との共依存に振り回された過去、その過去から手放し、自分の生き方を模索している女性からのメッセージ



14:00 トーク・セッション

松本先生と「いきづらさを語ろう」

メッセージの方々と一緒に生きづらさを手放す方法を語りあいます。



15:00 閉会

【主催】



茨城県精神保健福祉センター

【お申込み先】



茨城県精神保健福祉センター相談援助課あて

TEL 029-243-2870

FAX 029-244-6555



【申込締切】平成29年5月12日(金)

【お申し込み方法】 FAXまたはお電話でご連絡ください。



FAX送信票5月17日【生きづらさ講演会】申込書

所属	職種	ご氏名	電話番号



自助グループの方
「アノニマス・ネーム」OKです！